

中村橋駅周辺まちづくり検討会

第8回 議事要旨

[日 時]

令和8年8月27日(木) 18時30分から19時30分まで

[会 場]

サンライフ練馬3階 研修室第一

[出席者] (敬称略)

委員 商店会2名、町会1名、学校2名、区民1名

[事務局] (敬称略)

練馬区長 吉田

都市整備部 中沢、山本、吾妻、高山、富本、原崎

地域文化部 毛塚、河久保

[傍聴者] 4名

[議事次第]

1. 開会
2. 議題 中村橋駅周辺まちづくり検討会について
3. 閉会

[配布資料]

- ・資料1 中村橋駅周辺まちづくり検討会について

1. 開会

事務局	皆様、こんばんは。練馬区長の吉田健一でございます。 本日は夕刻のお忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。 本日は、美術館再整備の見直しと中村橋駅周辺のまちづくりについて、委員の皆様から私から直接ご説明をさせていただきたいと考え、お集まりいただきました。どうぞよろしくお願いいたします。 美術館の再整備につきましては、委員の皆様を始め、多くの方々にご尽力をいただいたことを承知しております。また、議会での請願採択など重く受け止めております。 しかしながら、昨今の物価高騰、そして行政がいろいろなニーズに応えていけないといけない中で、美術館の整備費があまりにも高額になりすぎたため、白紙に戻すことになりました。 これまで皆様におかれましては、多大なご協力をいただきましたことを心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。 一方で中村橋駅周辺は、私も 40 年程前にこの周辺でよく仕事をしておりまして、その頃はまだ踏切だったのですが、高架になりだいぶ街が変わって来たとは言え、バス乗り場の問題、商店街の歩道の問題など、いろいろな問題を抱えていることは承知しております。 美術館自体の見解はハッキリとさせていただきましたが、まちづくりの方はそれとは別にしっかりと今まで以上に進めていきたいと考えております。 今日はその辺も含めて、皆様にご意見をいただきながらまちづくりに活かしていきたいと思っておりますので、どうぞ忌憚のないご意見をいただければと思います。 本日はどうぞよろしくお願いいたします。
-----	---

2. 議題

中村橋駅周辺まちづくり検討会について

事務局から資料 1 の説明

事務局	・これまで部会を含めて計 15 回、まちづくりについて検討を重ねて来た。 ・区立美術館・貫井図書館の再整備については見直しとなるが、中村橋のまちづくりは、必ず進めていかなければならないため、今までの検討が全て振り出しに戻るものではないと考えている。 ・本日は、これまでの検討内容について、今後に活かすことが出来るものについて、皆様からご意見を伺いたい。
事務局	・資料 1 の説明をする。 ・本日、初めて参加された方もおり、また、前回からかなり時間が経過しているので、中村橋のまちづくりについて改めて説明をする。

	・中村橋駅周辺まちづくり検討会については、令和4年度から全体会、駅周辺まちづくり部会、美術のまち部会のそれぞれを開催しながら、令和6年度末まで皆様にご協力いただきながら計15回開催した。 ・今までの検討会では「美術のまち部会」と「駅周辺まちづくり部会」の2つがあった。 ・「美術のまち部会」では、「美術のまち構想」の策定に向けて、アートを感じられるまちの検討を行い、皆様のご協力をいただき、美術のまち構想を令和6年度末に策定した。 ・主な内容として、一つはソフト事業があり、アートマルシェ等のイベントや、美術館・図書館がまちに出て、まちと一体的な取り組みを行うという事が、構想の成果の一つとして示した。 ・もう一つはハード事業であり、まちへの装飾など、美術館と一体となり、まちなみを整備の検討をしてきた。 ・「駅周辺まちづくり部会」では、「駅周辺まちづくり構想」の策定に向けて検討をしていたが、美術館再整備が白紙になったこともあるので、その当時に皆様とまちの課題をどうやって整理したかという事について説明する。 ・まず1点目は、駅周辺のバス交通の改善である。練馬区内でも駅が約19駅あり、その中で中村橋駅はバスの利用者数が4番目に多いのだが、北口も南口にもバスロータリーがないという大きな課題がある。 ・2点目は、中杉通り（千川通り北側）の安全な歩行空間についてである。これは以前から地域からもずっと言われているところ。 ・3点目は、中杉通り（千川通り南側）は、道幅が狭い中でバスの通行がある。 ・続いて、美術のまち構想については、皆様にご協力いただき令和7年3月に策定し、3つの将来像を掲げた。 ・3つの将来像は、①まちのあちこちにアートなスポットが溢れている、②美術館図書館を起点に新しい交流が生まれる、③アートを軸とした様々な活動がまちなかで行われているというもの。 ・この3点は、美術館の再整備が前提だが、これについては今後も活かせる部分は活かしていきたいと考えている。 ・続いて、駅周辺のまちづくり構想については、3つの課題を取り上げた。 ・課題1つ目は、資料3ページ目で、バス交通の課題。バス停が駅から離れており、離れているところだと200m以上離れている所もある。また、駅周辺にバス停が5箇所あるが、複数箇所に分散しているため分かりにくく、利便性が低いということが課題となっている。 ・課題2つ目は、商店街として賑わっているが、歩道がなく、歩行者・自転車・自動車が錯綜しているため、安全歩行空間の確保が課題となっている。 ・また、安全な歩行空間を確保し、より一層の賑わいや回遊性を高めるための検討も必要。
--	--

	・過去には、交通バリアフリー構想や中杉通りの構想の作成時に、無電柱化やカラー舗装や一方通行を行ったが、やはり今でも課題を抱えている。 ・課題3つ目は、歩道がなく、歩行者・自転車・自動車が錯綜しており、歩行者と自動車の距離が非常に近く危険なため、安全な歩行空間の確保が課題。 ・また、沿道で滞留することが難しく、商店街の賑わいにも影響を及ぼしている。 ・これまで皆様と様々な課題を共有させてもらった。今後まちづくりの検討をリスタートするにあたり、これまで皆様にご意見をいただいたところについて、意見をいただけたらと思っている。
--	---

委員からの意見

事務局	ただいまの説明で何か意見はあるか。
事務局	・美術のまち構想について、これまで長い間ご協力をいただき、まとめたものである。先ほど説明があったが、美術館再整備については白紙となったが、美術館があるまちには変わりはない。 ・美術館を担当している部門としては、やはり構想にあるようなまちのあちこちにアートなスポットが生まれる、交流が生まれる等は、美術館再整備いかに関わらず行っていないといけないと認識している。 ・アートマルシェを開催したり、昨年度からはアーツ中村橋といって、まちなかの空き店舗や実店舗をお願いをして、アート作品を置かせてもらうということを行った。こちらは引き続き行い、皆さんからいただいたご意見については、そのような形も含めて活かしていけたらと考えている。 ・一方で、課題になっていたハードなまちづくりについては、それに関わらず進めていくべきとの認識のもとで、本日区長にも来ていただき、皆さんに先ほどの経過も含めて事情を説明させていただき、一旦リスタートの機会だと捉えていただけたらありがたいと思う。ぜひ忌憚のないご意見をいただけたらと思っている。
学校	・地元小学校の PTA としては、一番今回の課題の中で繋がりが出来て良かったと感じるのは、小学生の利用としては図書館がメインなのに、美術館の建て替え時に図書館の事が全然話題に挙がらなかった。 ・それで、蓋を開けてみたら3年間図書館がなくなってしまうということで、近隣の学校では相当に話題になっていた。 ・小学生が自転車で通える距離に図書館があるというのは、ぜいたくな話ではあるが、それが無くなってしまうのは、すごく寂しい話だなということがあった。 ・そういった事を中心に PTA の方でも話題に挙がっていたが、美術館の方でも尖った企画がすごく多くて、個人的にもそれを楽しみにしていて、久しぶりに企画展が始まってよかったと感じた。 ・結局、美術館は企画展の中身が芯の部分で、それをどう繋いでいくのかということが課題だと思う。

	・練馬文化振興協会に事業委託しているのだが、建物が大きくなると、予算の中で施設の維持費にお金を持って行かれてしまい、企画展が先細りしてしまったり、学芸員の継続性が一回建て替えを経てどうなっていくのか心配だと感じている。 ・今回一番ありがたいと感じたのが、再整備にストップが掛かり、その後白紙撤回となる中で、役所内でも予算関係で苦勞した人がいたと思うが、美術館や図書館を継続させることに予算をちゃんと付けて、図書館も継続して、美術館の企画展も開催できて、この先の企画展のスケジュールも組んでいけるというのが、すばらしいと感じた。 ・建物も大事だが、やはり中身が重要だと思う。そこが常に課題の中心であってほしいと思っている。 ・補助 133 号線の延伸に関しては、向山小学校の通学路を分断する形で通るので、結構長年に亘る課題になるのかと思う。子供たちが歩いて登校するエリアが虫食いだらけになり、道が開通するまでの間というのが一番危険だと思う。 ・防犯カメラの整備とか、配置換えとか、そういった課題も出て来ると思うので、ぜひ検討をしてほしいと思う。 ・このような検討会等の場がたくさんあるといいと思う。 ・我々、地域住民も直接練馬区の方や委託で入っている管理者と話が出来てとても勉強になったし、美術館も立ち止まれて、その後もちゃんと継続できて良かったなと感じる。 ・立ち止まる勇気は必要だったと思うが、建て替えが無理となった場合、大規模改修にフォーカスすることになる。昇降機、空調、水回り等の設備で限界が来ているところは、ぜひやっていただき、せっかくまちの中に美術館も図書館もあるので、これを活かしてまちづくりをしていただければ、すばらしいことだと思う。
事務局	・基本的に我々も同じ考えだと感じた。 ・元々、美術館の建て替えの話があり、それが立ち止まることになり、企画展や図書館を継続していかなければならないと考えている。 ・企画展についても、美術館の学芸員はどちらかというと現代アートに強い方が多く、今までも様々なご評価をいただいていたということもある。 ・美術館は、建物自体の躯体もこれから確認するが、設備面でもかなり調子が良くないということが現状ある。大規模改修というのは確実にやらなくてはならない状況。 ・そういった改修をする中で、企画展や展覧会など、アートな取組をいかに止めずに継続していく方法を考えないといけない。 ・仮に大規模改修を行うとなると、企画展は難しいと思うが、いずれにせよ継続してやっていかないといけない、いくべき内容だと思っている。そこは皆さんの期待に応えられるように頑張りたいと考えている。 ・図書館についても同様に、やはり美術館・図書館が両方揃っているというのが大きな特徴であり、魅力であると思っているので、そこは念頭に置いて、

	改修についても、まちづくりについてもやっていければと思っている。
事務局	・中村橋のまちづくりには歴史があり、鉄道の高架化に合わせて、私も過去に少し携わったことがある。 ・南口にちょっとした広場があるが、高架化の直後くらいに出来たかと思う。 ・また、サンライフ練馬の周りは無電柱化しているが、この無電柱化の工事を監督していた。そういった経緯で中村橋には何回も来ていたし、いろいろなまちづくりに携わった。 ・歴史的には、高架化の時に出来ることとして、広場や美術館周りの無電柱化をやって来たが、その時から課題になっていたのが、バス乗り場や中杉通りの商店街の歩行環境であり、地域の方々からは改善の要望はもらっていた。 ・しかし、正直なところ、なかなか難しく良い解決策が見つけられず、地区計画というルール作りだけではできたのだが、その段階で一旦休止するような形になったのが、中村橋のまちづくりかと思う。 ・そんな中で美術館の建て替えの話が出て、美術のまち構想ということで、まちに美術の作品を展示するとか、そういった話が出てきたが、これは抜本的なまちづくりの課題解決ではないとも思う。 ・そのような中で、美術館再整備が見直しになり、中村橋のまちをもう一回改めて考え直した時に、高架化してから時間が経ち、補助 133 号線の都市計画道路の話が進捗している中で、中杉通りやバス乗り場の話をもう一回検討する時期が来たのかと思っている。もう一回、その話も地域の方と話していく良いタイミングなのかと感じており、まちづくりの話もリスタートする機会にしたいと考えている。 ・このような地域の意見を聞く場を作ってほしいとの話ももらったが、これからまちづくりを進めていく上でも、ぜひ我々も地域の方々と話し合う協議会や検討会を新しく作り直して検討をしていけたらいいと考えている。 ・その時によくやるのがワークショップ形式と言って、白地図を机に並べて付箋を貼って、まちをこんな風に改善していったらいい、こんなまちになったらいいというような話を、以前にもやったことはあるが、もう一回、十数年を経て、やはりまちの状況も変わってきているので、改めて地域の方々とやり、中村橋のまちの残されている課題について、もう一回まちづくりを皆さんと一緒にやりたいと考えている。
事務局	・補助 133 号線の話が出たので少し補足すると、千川通りの南側（上鷲宮～千川通り）区間は、1 年度間で用地取得率が 3 % 伸びて 27% になった。 ・目白通りの北側は、令和 7 年 3 月に事業認可が下り、1 年間で用地取得率が 1 % になった。目白通り北側は、不接道のため、建て替えができない住宅も多く、関心が多いと聞いている。 ・今までは、美術館再整備を契機とした駅周辺のまちづくりを進めてきたが、防災上の課題や地域の分断などの課題もあるので、駅周辺のまちづくりとあわせて検討して欲しいという意見もあったが、我々も同様に、将来を見据えた検討を行う必要がある、という考え。
商店会	・我々は商店街として、「美術館のあるまち」ということをキャッチフレーズに

	も使っていて、フラッグを出したりしている。 ・美術館とはいろいろ提携していて、以前は商店街で横断幕を作ったり、千川通りからのルートが分からないという意見があったので、横断幕を付けたりといろいろと協力してきたし、今は商店街のクーポン券を美術館に置いてもらったりしている。 ・美術館が再整備されないと言っても、これだけの建物なので、構造上の問題やバリアフリーの課題があったりすると思うので、そういったところは直していったほしいと思う。 ・また、図書館も地域に密着しているので、大改修となると多少は休館も必要になるだろうが、安心安全な美術館・図書館にしてほしいと思う。 ・それに伴い、まちづくりということで、今まで検討会で美まち部会と駅まち部会と別れて、駅前広場とか商店街とかの整備についていろいろな案が出た。 ・以前は開かずの踏切で朝晩は大渋滞するような時期もあったが、駅を高架化したことで南北の流れができ、商店街にも中野区の人買い物に来ている。 ・そんな中で美術館ができて来街者も増えているので、美術館の再整備は白紙になったが、やはりまちづくりは進めてほしい。 ・駅前広場も、災害のために前々理事長が苦勞して作ってもらった。今はイベントで使わせてもらったりしているが、本来ならばビル等が建ってしまっていたかもしれない。そうならずにあのような空間が出来て良かったと思っている。 ・出来てから 20 数年経っており、少しは手直しが必要かもしれないので、駅から降りて、ここには美術館があるのだということが分かるような仕掛けを作ってはどうかとか、検討会でもそういった話をしてきた。 ・今後の課題として中杉通りの話もあり、中杉通り新交会、中杉通り商栄会、東通り商工会、中村西和会など、本日は出席していない方もいますが、補助 133 号線が開通するとなると、バス路線の課題やまちづくりの課題も重要になってくる。 ・そのため、北側だけではなく、中村橋全体で課題を検討していくといいと思う。我々も、また一から協力をしていきたいと思っている。
町会	・美術館再整備の白紙撤回については、非常に残念に思っている。 ・私は検討会には比較的后半から参加したのだが、中村橋の特徴はこれという物がなかなか無く、やはり美術館を基盤にして活性化しようと、そういったことを検討会でもよく言っていた。 ・美術館も非常に老朽化して、バリアフリーにも課題がある。私も利用するが、あの階段は非常に老人向けではないと感じる。 ・美術的なオブジェがあったりするのだが、あそこが入口だというのは何だかピンと来ない。正面の道路から堂々と入るような、特徴のある入口があった方がいいと思う。 ・そういった意味では残念だったが、先ほど区長が話したように、予算をどこに使うかという事を検討してほしい。

	・以前に検討会でバスのロータリーの話があった。 ・私が出席をした回で、この近くでロータリーを作ると言っても、やはり場所が無いので、将来的にはバスが春日町の方に抜けて、もしかしたら成増の方まで行って、そこで折り返して来ればいいというような話もあったが、それはおかしいと思う。 ・やはり中村橋を起点にして、まちづくりをやるのが当然だと思う。 ・そういう意味では、駅近くにロータリーを作り、中村橋を拠点にしてあちこち行けるのが、あるべき姿ではないかと思う。 ・美術館再整備の費用が2倍になったことについては、時期的に良くなかったと思う。 ・練馬区の中でも、中村橋は美術館のあるまちというのは特徴だし、これだけ大きな美術館がある区というのは他にはあまりないと思う。 ・そのため、本来ならば再整備を促進して、それを特徴としたまちづくりには非常に期待していたので残念に思う。 ・再整備が白紙になり、予算が余ったとは言わないが、その分をまちづくりに使ってほしい。特に、中杉通りの無電柱化はいつになるか分からない。 ・都道ということもあるので、本来ならば、都が無電柱化をして、区に移管するのが一番良いのだが、そうではないのだとすると、できるだけ早く都道から区道に移管をして、区が予算を回して実施するという形にしてくれたらいいと思っている。 ・美術館がどうなるか分からないが、我々が使いやすい建物になってほしい。 ・美術館は、練馬区の中でも天皇皇后両陛下が来られた名誉な美術館であるし、そのような美術館であるべきだと思うので、そういう方向に持って行ってほしいと思う。
事務局	・バスロータリーと中杉通りの移管について、説明をする。 ・バスロータリーを作るにしても用地がないという話は、その通り。 ・やはり練馬区の他の駅でも、他の23区内でもそうだが、既に市街化が進んでいて、大きな敷地というのは正直なところ無いのが実情。 ・そんな中で、どのようにロータリーを作るのかというと、まちづくりの手法として、様々な都市計画の手法がある。 ・例えば、再開発ビルを作り、そこの土地を持っている方に協力していただき、空間を設けるという手法でロータリーを作るという方法もある。 ・単純に土地を買収するだけというのはなかなか難しいので、バスロータリーを作るという話になれば、地域の方々とまずは土地を譲っていただけるのか、その次は都市計画の手法の中で地域の方々にご協力をいただけるのかとか、なかなか難しい話ではあるが、一つずつ地域と話を積み上げていくことが大切だと思っている。 ・大きな課題であることは間違いないが、我々だけでは実現できないので、地域の方々の協力をどこまでいただけるのか、都市計画の手法はなかなか難しいので、一つ一つ一緒に勉強しながら進めていきたい。 ・もう一点、中杉通りの移管の話は、正直なところ課題が多い。古い都道なの

	で、どこまでが道路なのかという境界がなかなか難しい状況になっている。 ・我々も移管して再整備を考えたいのだが、どのような形ならば問題なく東京都から移管できるのかということを整理しないと、なかなか譲り受ける訳にはいかない。これは今までも東京都とずっとやっているもので、引き続き、東京都ときちんとした引継ぎができるようにしたい。どちらかと言うと引継ぎたいと思っているので、そのためには、どこまでが道路で民有地なのかという境界をハッキリさせたい。 ・これも地域の方と一緒にやらないと出来ないのでは、都も巻き込んでやっていきたい。
事務局	・中杉通りの無電柱化について、少し補足をする。 ・無電柱化というと、地上にある電線を全て地下に入れるために、地下に空間が必要になってくる。 ・通常だと下水管があり、ガス、水道が埋まっている。 ・今、区や都で進めている無電柱化は、道路の歩道の中に埋めていくというケースが多いのだが、中杉通りは歩道がないので、幅6mの道路内でどのように入れられるのかということがある。 ・中杉通りというのが、地上からは分からないのだが、既存の下水、ガス、水道に併せて東京電力の管も入っていて、それがすごく複雑に入っていて、無電柱化するためのスペースがない状況。 ・そのため、まず無電柱化を進める場合、先ほど話のあった都と区のどちらがやるのかという問題もあるのだが、今入っている既存の管を一度どこかに引っ越しをして、無電柱化するための空間を作って、引っ越しをした管をそこにもう一度戻すという作業が必要になるが、管を引っ越すスペースもなかなか無い。 ・そのため、無電柱化するためには、通常の道路よりもかなり難しい検討が必要になる。現状としてはそのような状況になっている。
事務局	・美術館、図書館については、再整備白紙になったのが残念だという率直な意見をもらいありがとうございました。 ・美術館、図書館、サンライフ練馬は、元々の計画では取り壊すつもりだったので建物の状態を確認しておらず、状況が分からないため、この秋から改めて調査をさせてもらう。 ・建物のコンクリートがどのような状態なのか、そのまま建物が使えるのかどうか、先ほど話のあった設備面での問題、その辺りを確認していく。 ・その辺を踏まえて、美術館、図書館を使いやすくするべきということは根底にある。いずれにしても設備面の改修は必要なので、調査結果を踏まえながら、なるべく皆さんが使いやすいようにできたらと考えている。
学校	・私は、こういった検討会に初めて参加する。 ・中村橋で生まれ育ったが、まちづくりを初めて検討する中で、今ある課題から検討する部分と、都や区の理想とする部分から話をするという両面が必要だと思う。 ・理想のあるべき姿があまり見えていないのだが、区としての理想像みたいな

	ものがまだぼんやりしているように感じる。そこをどうやって検討していくのが課題である感じている。 ・実際にまちづくりを考えた時に、練馬区の中でもモデルケースとなるような良い地域も結構あると思っている。 ・例えば、大泉学園には東映があり、アニメのまちというコンセプトで駅前を含めて大々的に整備している。石神井公園も以前は絶対にバスロータリーなんてできないだろうと思っていたが、今ではきれいなロータリーができています。 ・そういったモデルケースを参考にしながら、どのようなまちを理想として作っていけるのか、都と区と地域とで考えていくといい。 ・中村橋でいうと、西武鉄道とも協力をして、改札を美術館側にも作ってもらい、そちらを栄えさせるとか、そういった検討も出来ると思う。 ・もっとミニマムな話だと、阿波踊りを商店街の中だけでやると狭く大変ということもあるので、美術館や緑地の方まで行って、そこでも踊るとか、いろいろ出来ると思う。 ・私は40年間住んでいるが、中村橋が美術のまちという認識は、地域住民はあまりないと思う。それをどうやって連想させていくのかということがすごく大事なポイントだと思うし、それを目指すのであれば、どのようにしていくのか、しっかりと理想と現実を踏まえて検討していく必要があると思う。
事務局	・我々もいろいろなまちづくりをやっていく中で、まず、はじめにどういうまちを目指していくのかという将来像は、我々区だけでなく、地域の方々や西武鉄道等の地元事業者も巻き込みながら、共有するところから始めたい。 ・今、いろいろとアイディアをもらったが、阿波踊りで美術館の方も回るとか、地域の皆さんがどういうまちにして、どういった活動をしていきたいのかを話し合うことが重要だと思う。 ・それをしないと、どこに道路を作ればいいのか、どこに広場を作るのか等の検討が始まらない。 ・まずは、将来像を皆さんと話し合っ、一つ一つどのような整備が必要かを検討させていただきたい。 ・いろいろな地域のまちづくりでも皆そこからスタートしている。
事務局	・およそ30年前は練馬駅ですら高架化していなかったが、状況が大きく変わった。 ・大泉学園駅は、1階はバス・タクシー専用のロータリー、2階は店舗、3～4階は商業や公共施設が入り、それ以上はマンションになっている。 ・地権者に協力してもらえるかどうかの課題はあるが、一つの方策として、中村橋でも大泉学園駅のようなことが出来ないことはないかもしれない。 ・中村橋は、バスの課題をずっと引き継いでおり、いろいろな方法があるので、検討していきたい。
区民	・私は、美術館のサポーターをやっていて、美術館もよく利用しているが、美術館内は一見キレイに見えるが、トイレが古かったり、空調があまり良くなかったり等あって、そういった所は改善が必要だと思う。

	・例えば、大泉学園には東映があり、石神井公園には大きな公園があるが、中村橋は美術館が顔だと思う。 ・その「顔」になるためには、美術館が魅力あるものにならないといけない。 ・私は石神井公園に住んでいるが、美術館があるから中村橋に足繫く通っていて、私の仲間も他所から中村橋に通っているが、美術館に魅力があれば人が集まってくるし、そうすると中村橋のまちも盛り上がっていくと思う。 ・まずは、顔である美術館が、美術館は美を飾る場所なので、やはりある程度キレイじゃないといけないし、そういったことも含めて改善していただきたいと思っている。 ・なので、私も再整備が白紙になりガッカリしている側なのだが、魅力のある美術館にしてほしいと思っている。
商店会	・長年、中村橋に住んでいるが、昔はこの辺りも畑ばかりで何もない場所だったが、美術館も出来て、中村橋もだいぶ変わって来たと感じている。 ・今回の美術館再整備については、やはりこれが核になって、有名になってくれるといいなと思いつつ検討会に参加していたので、白紙になったことは残念に思っている。 ・ただ、先ほどから話に出ているように、ハードな整備だけでなくソフトな取組も大切だと思う。 ・ハード面はこれから見直さないといけないが、これからはソフト面の検討を進めていけたらと感じている。 ・ソフト面の取組というと、先ほどあったようにサンツのイベント等、商店街の中でもいろいろな取組に協力していけたらと思っているし、まちづくりについても、無電柱化等の人が集まりやすい状況を作るというのも非常に重要だと思う。 ・まずは興味を持ってもらえるように、そういった取組を進めていけたらと考えている。
事務局	・先ほど委員の方から魅力ある美術館をという話があったが、ちょうど今、アーツ中村橋についても進めているが、こういった事業は今後も続けていきたいと考えている。 ・地域の皆さんと一緒にやるソフト事業も大切だと思っている。 ・美術館の中での事業もこれからも一所懸命にやっていくが、併せて、地域の皆さんと一緒にアートな取り組みも展開していけたらと考えている。 ・その際には、また声を掛けさせていただくので、よろしくお願いします。
商店会	・今、話のあったように、アーツ中村橋が来月から始まる予定で、最後の土曜日曜にアートマルシェを実施し、美術の森緑地で出店を行う。 ・もう4回目で、私も出店するが、他にもアーティストがいろいろなことをやる企画等、区の方でも盛り上げてもらっているのはありがたい。 ・商店街としても、夕市などの売り出しや阿波踊りもやっているのので、それに併せて美術館の方も地域のイベントとして考えてもらい、美術館のあるまちだと実感している。これからもよろしくお願いします。
事務局	・最後に、今後の想定しているスケジュールとして、区としては、この環境も

	継続しながら、また新たな検討会としてリスタートしていきたいと考えている。 ・何より地域の皆さんの生の声をもらいたいのので、以前にも行っているが、課題について深掘りして、改めてアンケートを行いたいと考えている。 ・そして、まちづくりニュース等を使って皆さんに発信をし、中村橋でまちづくりをやっているということを皆さんと共有したいと思っている。 ・来年度以降については、まちづくりもいろいろな手法があるという話もあったし、練馬区が考える将来像という話もあったので、皆さんとキャッチボールをしながら、区の方からこんな形はどうでしょうか？という提案を示すことができないかと思う。 ・そのような勉強会をしながら、一緒に検討を行いながらまちづくりについて進めていきたいと考えている。
事務局	・新しい勉強会、検討会を皆さんとご協力いただきながら行っていきたいと考えている。

3. 閉会

事務局	・先ほど説明させていただいたように、今後、新たな検討会を立ち上げ、これまで検討してきた課題について、地域の皆様の声を聞きながら検討を進めていく。 ・新たな検討会の開催時期については、決まり次第、連絡させていただく。
事務局	本日は、お時間をいただき、誠にありがとうございました。ご意見を聞かせていただきました。 実は、昨日みどりの区民活動会議を立ち上げ、区役所で開催をしました。公募の方など皆様にお集まりいただき、結論ありきではなく、どうしたら緑を守れるのかという内容で、第1回の会合を行いました。 その結論ありきではない会議は、1回目は正直なところ、なかなかまとまらなかったのですが、皆様からいろいろなご意見を時間がオーバーするくらい出させていただきました。 そういう面で会議というのは、例えばここにロータリーを作りますがどうですかとか、道を広げたいのですがどうですかではなく、今回は本当にいい機会だと思いますので、全くまっさらな状態で、皆様のご意見を聞きながらまちづくりを進めていきたいと思っています。 検討会の回数も何回になるかは分かりませんし、都度都度議題があるかも分かりませんが、どうか皆様にはご出席いただき、また多くの皆様にご出席いただき、本当にその時その時に思ったことで構いませんので、それが少しずつ皆様の望むまちづくりになっていけばいいなと、そういったまちづくりを中村橋から新たな第一歩として進められたらいいなと、そのように思いました。 本日は、本当にありがとうございました。

以上